

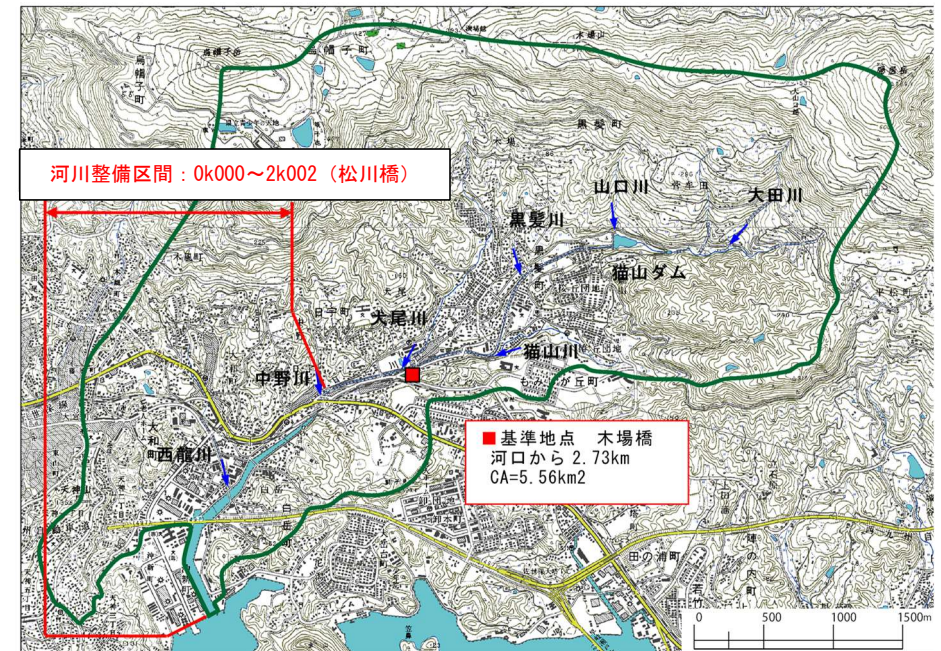
# 令和5年度 第2回 長崎県公共事業評価監視委員会

## 再評価対象事業

河川－9 日宇川総合流域防災事業

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後5年経過  
(事業費及び完了工期の見直し)



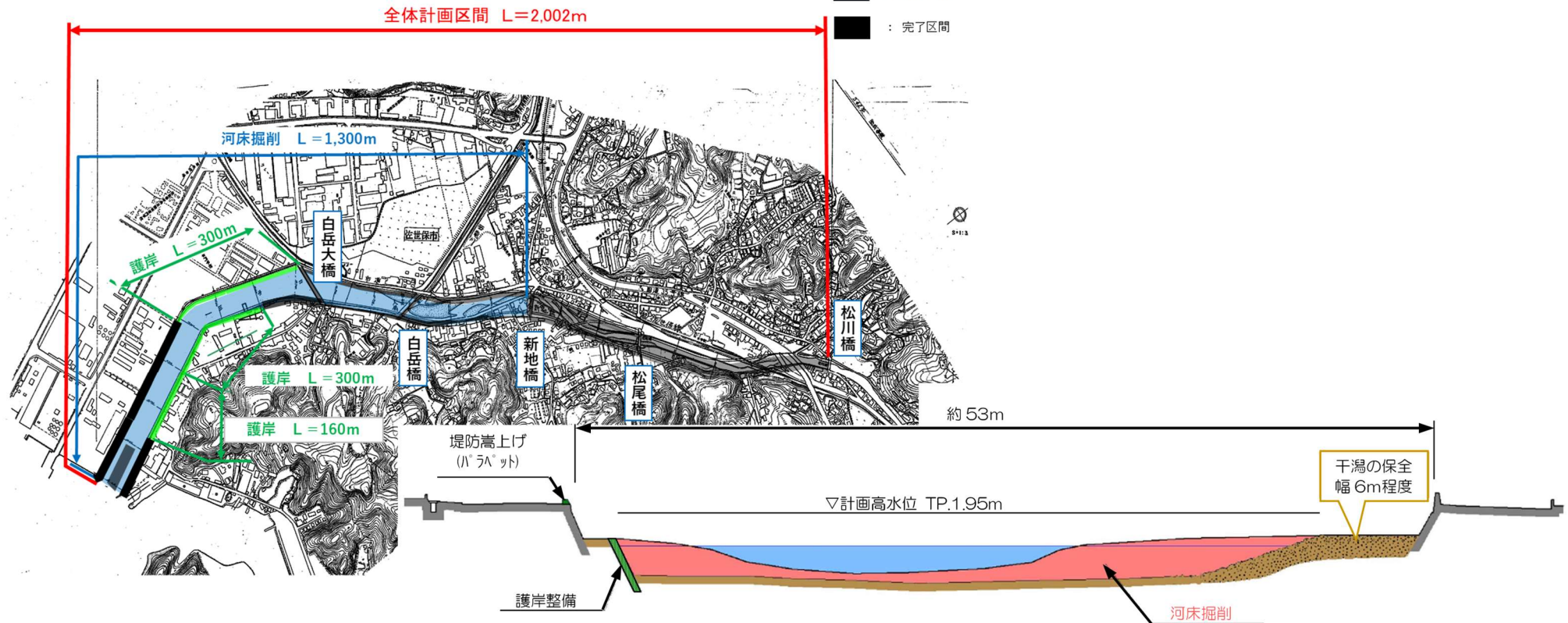
流域面積 : 14.76km<sup>2</sup>  
幹川流路延長 : 7.4km

# 1. 目的・事業概要・これまでの経緯

## ◆目的

日宇川の河川改修事業は、昭和42年の災害の翌年、昭和43年度から事業を着手しております。事業経緯としては、狭窄であった松尾橋と松川橋間を完成断面で施工し、その後、白岳橋までの護岸工事を平成9年度までに完了しております。

日宇川計画平面図



## ◆事業概要

工事延長	日宇川 L=2,002m
整備内容	築堤、河床掘削、護岸整備

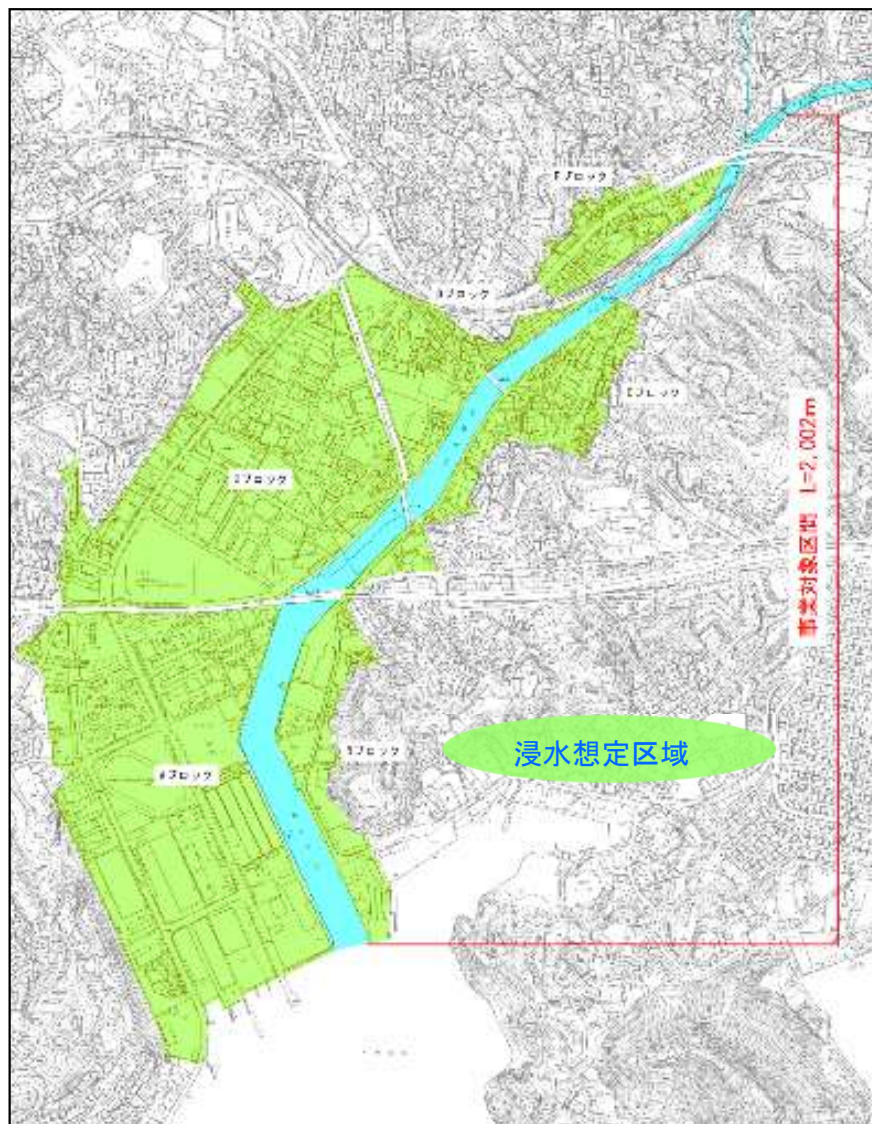
## ▼事業経過

昭和43年度	事業化
昭和43年度	用地買収着手
昭和43年度	工事着手

## 2. 事業の効果・必要性

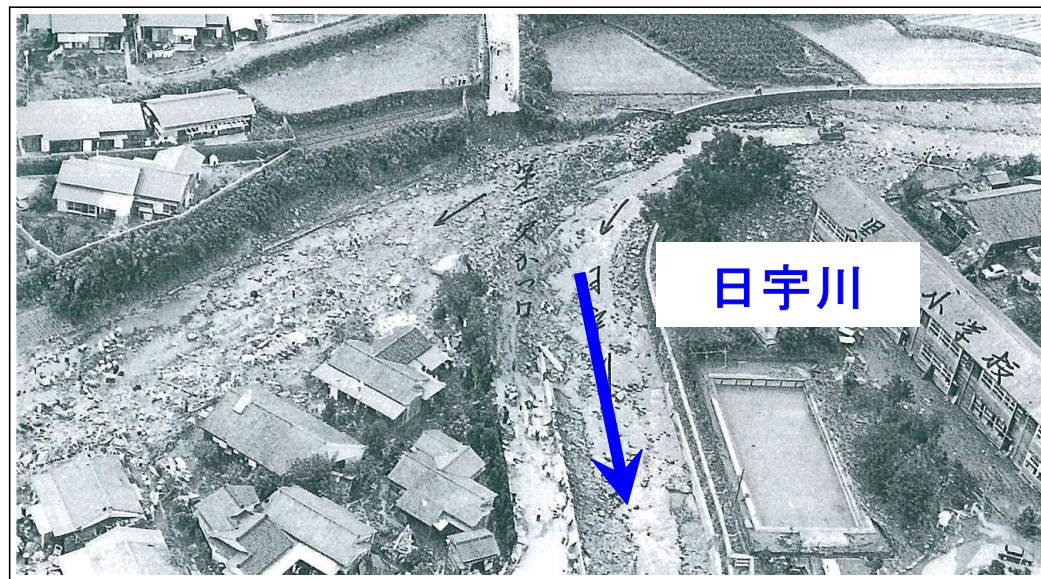
### <河川の氾濫防止>

想定氾濫区域内は、住宅や工場・商業施設が立地し都市化が進行しています。



### <過去の被災状況>

昭和42年7月水害では、日宇川の破堤・溢水により110haの浸水と2,000棟にもおよぶ家屋の被災が発生しています。現状において河川の整備水準は十分ではなく洪水による氾濫危険性は高い状況にあります。



黒髪小学校付近被害状況 (S42.7洪水)

浸水家屋	床下浸水	床上浸水	その他
1,992戸	1,419戸	541戸	32戸

最大時間雨量	浸水面積	宅地・その他	農地
125.1 mm (佐世保)	110ha	55ha	55ha

## 3. 1. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費増額】前回:25億円→今回45億円(20億円増額)

・軟弱地盤対策や河床掘削工法の変更等のため。

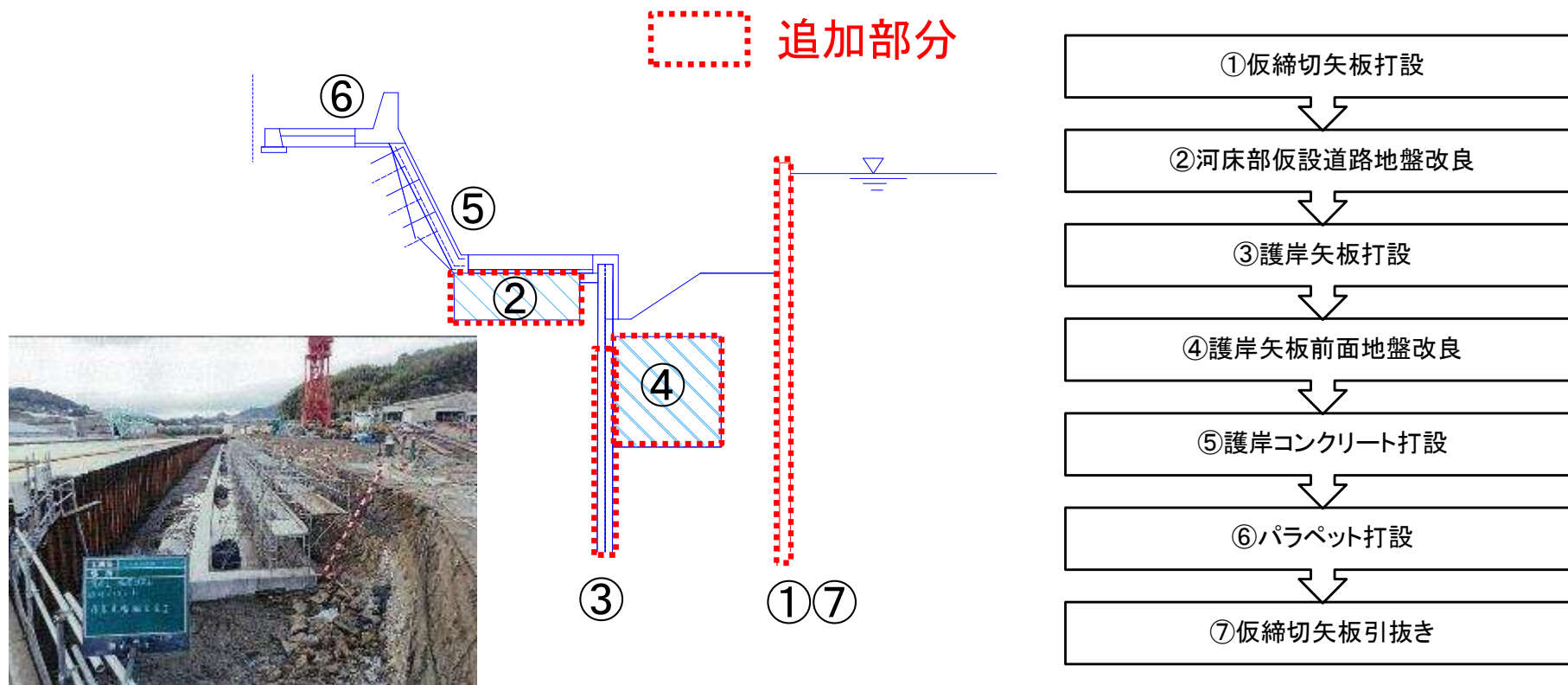
〔事業費増の主な内容〕

事業費増の内容	増額	主な増額理由
①護岸(軟弱地盤対策)	約 4.0億円	感潮区間の護岸整備実施に締切矢板が必要となったことによる増加
	約 6.5億円	軟弱地盤対策として地盤改良が必要となったことによる増加
②河床掘削(浚渫)	約 3.5億円	船による掘削を行い、陸揚げしドライ処理をしたうえで、処分場へ輸送する必要となったことによる増加
その他	約 6.0億円	労務単価の上昇及び資材費の上昇による増加
計	約 20.0億円	

## 3. 2. 事業の進捗状況(護岸の施工手順)

### 【護岸の施工手順】

- ・護岸の施工にあたって、潮の影響を受けないよう、矢板による仮締切りを先行打設。
- ・軟弱地盤で護岸構造の安定が図れないため、地盤改良を施工。



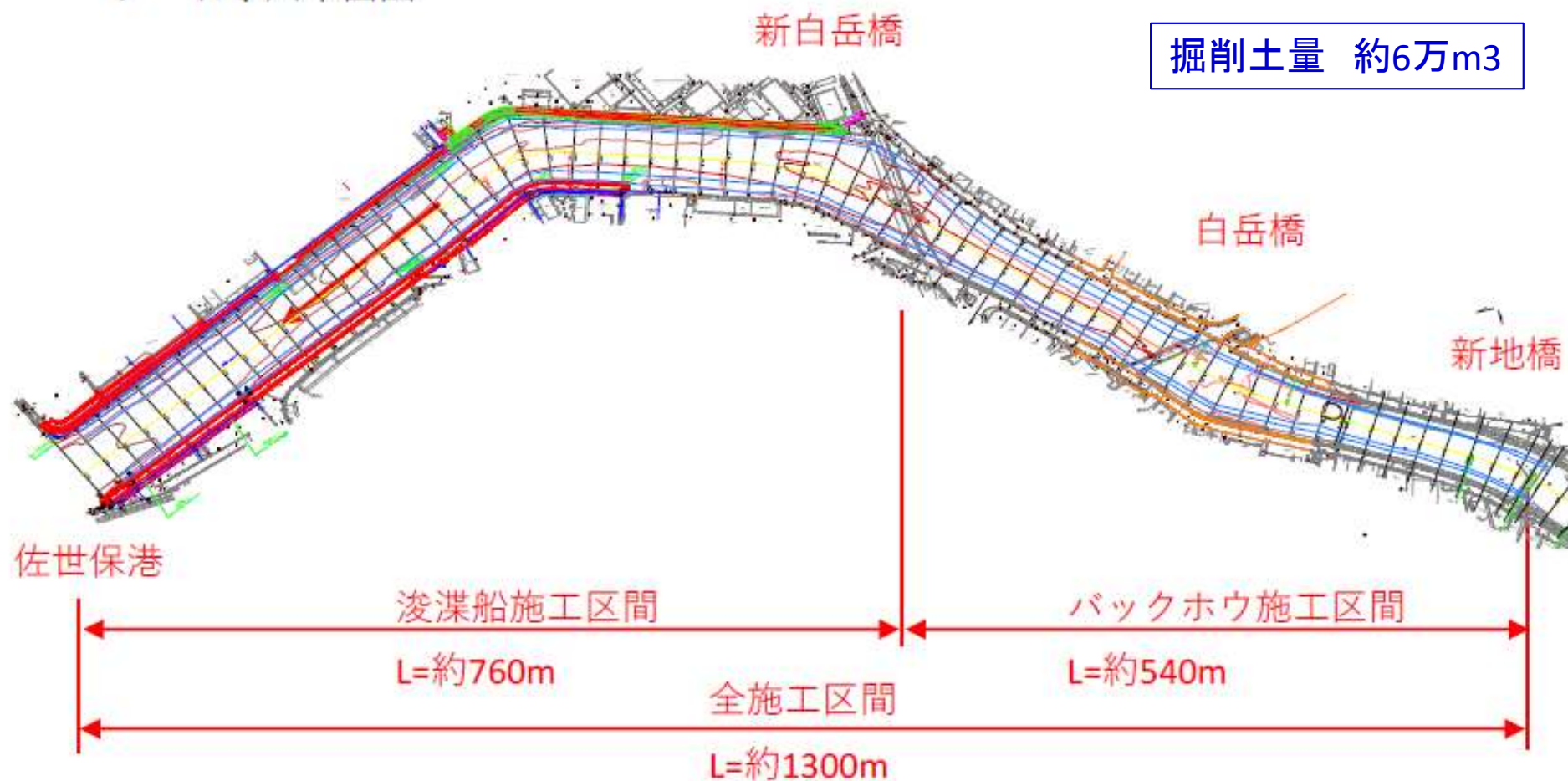
工事内容	当初計画	変更計画	増額
①護岸(軟弱地盤対策)	15.0億円	25.5億円	10.5億円

### 3. 3. 事業の進捗状況(河床掘削の施工手順)

#### 【河床掘削の施工手順】

・浚渫船による新白岳橋桁下の通過状況や干潮時の土運搬船運航状況等を踏まえ、新白岳橋を境に下流側を浚渫船による施工とし、上流側をバックホウによる陸上施工とする。

#### ◆ 日宇川平面図

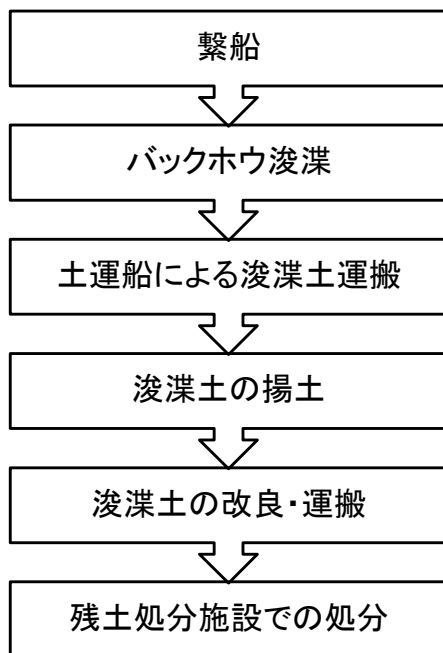


### 3. 4. 事業の進捗状況（河床掘削＜水中＞の施工手順）

#### 【河床掘削＜水中＞の施工手順】

・バックホウ浚渫船による掘削の後、陸上へ揚土し、運搬のため掘削土の改良を実施。

#### 水中施工フロー



#### 当初計画（潮待による掘削）



ダンプトラック運搬

#### 変更計画（水中掘削＋改良運搬）



バックホウ浚渫船

土運搬船

ダンプトラック運搬

工事内容	当初計画	変更計画	増額
②河床掘削（浚渫）	2.0億円	5.5億円	3.5億円

## 4. 1. 事業の進捗状況(事業費及び事業期間の見直し)

### 【完了工期】R5(前回)→R15(変更あり)

・軟弱地盤対策としての地盤改良及び浚渫工事に時間を要するため。

○前回

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
護岸工	■	■	■	■	■	■
河床掘削				■	■	■

○変更

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
護岸工	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
河床掘削												■	■	■	■	■

仮締切矢板及び軟弱地盤対策により5年間の延伸

仮締切が必要となったことから、同時施工不可

河床掘削方法の変更により2年間の延伸



## 5. 対応方針(原案)

- ◆ 事業進捗は、事業費ベースで約52%であり、用地進捗率は約96%となっています。
- ◆ 地元の佐世保市からも早期完成が望まれています。
- ◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成30年度)	今回評価 (令和5年度)
全事業	4.02 = 749.7億円 / 186.4億円	3.17 = 822.8億円 / 259.8億円

- ◆ 事業費の増額、事業期間の延長はあるものの、費用対効果が十分に見込まれます。

